



# TIFA会報

Tachikawa International Friendship Association

ホームページ <http://tifa-class.net/>

2017年9月21日

Vol.129

発行責任者 斎藤 實

編集責任者 小林 保

外国人に日本語を教えるボランティア団体

## 土曜教室の2学期がスタート

9月2日から柴崎学習館の土曜教室がスタートしました。当日の

出席者は、ボランティアが29名（保育担当1名を含む）、受講者は37名でした。受講者の内の9名は、この2学期から新たに入会する人達で、母国は中国とベトナムが各3名、米国が2名、台湾が1名です。

学習に最適な秋季のシーズンを迎えて、ボランティアと受講者は互に理解と懇親を深め、共に熱意を維持して、日本の言語や文化の学習活動を続けて行きたいと思います。



## 西砂教室の2学期開講

9月2日より新人ボランティアも加わって西砂教室の2学期の授業が始まりました。学習者、ボランティア教師ともに20人前後で規模は大きく変わりませんが、新学期を迎えることもあり「西砂日本語教室」の案内ポスターを9月いっぱい西武立川駅にある立川市の掲示板に貼りました。新しい仲間が増えるかもしれません。授業の後に開かれた例会で今年の秋は学習者とボランティアが一緒になって参加できる課外活動をすることが決まりましたので11月頃にどこか近場で遠足のようなものを実施する予定です。

## 木曜教室の2学期開始

木曜教室は9月7日に2学期がスタートしました。秋雨前線の影響で、ぐずつく天気が続く中、この日は雨こそあがったものの

曇り空となりました。そんな天気とは対照的に

10時近くになると受講生、ボランティアともに、そくそくと笑顔で教室に入って来ました。元気で再会できたことを喜びながら、



スムーズに日本語の学習を始める人、また、今学期から新しく



日本語教室で学び始めた人、それぞれが楽しく、熱心に

学習していました。一時間半の授業を終えて学習館を出ると道路が雨で濡れて、びしょびしょでした。ちょうど雨が止んだところでの帰路で、行きも帰りも傘がいらす良かったです。

## 西砂教室研修会

8月26日（土）16時より18時まで、半田淳子国際基督教大学教授をお招きし、研修会を行いました。当教室から20名が参加し、TIFA運営委員会からも、齋藤会長、赤嶺事務局長、的場柴崎土曜教室部長も参加されました。

半田先生はICUの日本語教育センター所長も務めておられ、日本語教師養成のクラスも持たれているほか過去には国内・海外での日本語教師の経験をお持ちの方です。

この日の講義内容は、以下3つの項目でした。

- ① 「第二言語習得理論」の簡単な紹介
- ② 「日本語教育の最新情報」について
- ③ 「子ども向けの教え方」

講義はわれわれ受講者も4つの班に分かれて、先生から投げかけられた問題を話し合い、結果を発表するという参加型の形式で行われました。

半田先生の講義は大きな声で始終動きながらの講義であっという間に2時間がたちました。



## 世界で83番目のグアム日本人学校

土曜教室 波多野 進

私は1985年から1992年の間、グアム島に赴任しておりました。今から30年も前のことです。

1986年頃、日本はバブル期、米国の不動産を日本企業が買ったということ、よく耳にした時代です。グアムにも日本人や日本の企業が沢山来島し、日本人子女の教育に行きづまっていた時です。日本人子女の為に、補習校として週1回、国語をボランティア（教師経験者や在留日本人の父母達）が、グアムの小学校の教室を借りて運営しておりました。在留邦人も三千人を超え、来島する観光客にホテルの数も不足しておりました。グアム島は面積が淡路島とほぼ同じ大きさで、島の25%が米軍基地です。

そうした中で、グアム日本人会の中から「我々の学校を造ろう」という気運が高まり、8名の建設委員が指名され、私もその一員になりました。それから土地の手当て、設計、文部省（当時）、大蔵省（当時）、海外子女教育振興財団等への働きかけが始まりました。

まず土地です。最初はグアム政府が土地を貸してくれる事になっておりましたが、議会で反対決議され駄目になりました。しかし縁あって日系のグアムの方の所有地（8000㎡）を購入することができてほっとしました。しかし建設に関する地元の人への説明会では、「我々は真珠湾を忘れていないぞ!!」という厳しい意見も出ました。

設計は、グアムで活躍されていた谷口謹弥さん（故人）にお願いしました。

グアムにおける日本人学校のステイタスは弁護士に相談した結果、私立学校となりました。

1989年6月に地鎮祭をして、1990年3月24日竣工しました。RC造平屋建て、12教室他、職員室等5部屋の校舎です。工事は私のいた会社（浅沼組）で施工させていただきましたが、途中で近隣の方々から反対運動があって一時ストップしたりして、大変きつい工事でした。

竣工式では新しい校歌が披露されました。作詞はジャル



パックグアム支店長の片桐悠爾さん、作曲は浜口庫之助先生です。浜口先生は病気の身でありながら竣工式に出席してくださいました。しかしその年の12月2日に亡くなられたと記憶しています。グアム日本人学校は83番目ですが、それからも日本国政府と海外子女教育振興財団の援助により、次々と造られています。世界各地の学校に毎年二千人を越す教員が、全国各地から選抜され派遣されています。海外にいる日本人子女教育に関するこの様なシステムは、大変すばらしい事と思います。

## 防災館見学

7月15日（土）PM1:00~4:30、市役所で防災講演を聞き、その後防災館の見学を行いました。参加者は中国人家族、メキシコ人等で通訳も同行しました。

市役所では、地震発生時には最初にどんな行動をとり、身の安全の確保、火災の初期消火、出口の確保等についてグループに分かれて話を聞きました。

防災館では起震車に乗り東日本大震災と同じ震度を体験しま

した。震度7の揺れだと1分でも長く感じ



られ、実際はこの揺れが3分もあったかと思うとゾッとしました。消火体験では消火器を使い火災現場の火を消火しました。救急では人間の体と同じ感触の上半身ボディを使い救急車が来るまでの心臓マッサージ、AEDの使い方を学びました。この処置で救われる命が数多くあるそうです。救命は実際にやってみないと恐くて手が出せません。「百聞は一見に如かず」のとおりで実際の消火、救命の体験は、これからの防災に役立つと思いました。



## 受講生の故郷紹介（木曜教室）

氏名：董 悦（とう えつ）女性 20代



故郷：中国 洛陽市

行路：成田→洛陽 約9時間

私のふるさとは中国の真中にあって、河南省の洛陽市です。洛陽のボタンは中国でとても有名で、毎年、四月に咲いています。全国の人が集まってお花見しています。洛陽は歴史が長くて有名な都です。13の王朝が洛陽を都として、13朝古都と呼ばれました。有名な場所は龍門洞窟と白馬寺と閼林などいろいろあります。洛陽の軽食もたくさんあります。例えば、スープ、甘い餅、スーラータンなど、とてもおいしいです。

氏名：ダイ イン 女性 31歳



故郷：中国 上海市

行路：成田空港→上海 約5時間

上海では、外灘、豫園、新天地が有名で、ライトアップはきれいです。おいしい食べ物は上海ガニ、小籠包です。日本で好きなのは、焼肉、カレーです。上海で食べたカレーより日本の方がおいしいです。日本でもカレーは自分でよく作ります。また、日本で好きなのは「新春セール」などの「〇〇セール」が大好きです。私は日本人が日常に何を食べているのかを知りたいです。

氏名：朱 杰（しゅ けつ）女性 30代



故郷：中国 遼寧省 大連市

行路：成田空港→大連空港 約3時間

4人家族です。主人と息子と娘です。皆で旅行をして、おいしい料理を食べることが大好きです。大連の観光名所として、東港広場や水族館などがあります。家に近いため、よく遊びに行きました。

氏名：サムビヤル ナミタ 女性 20代



故郷：インド ジャンム・カシミール州

行路：自宅→シュリーナガル空港（飛行機で4時間）→デリー（飛行機で1時間）→成田（飛行機で8時間）

私の故郷はインドの最北で、パキスタンと中国に国境を接しています。カラコルム山脈やチベット仏教の盛んなラダックもあります。冬寒く夏は暑いですがとても美しいところです。カシミールはパラダイスです。ここでのカレーは「激辛のカシミールカレー」と私の故郷ジャンムの「野菜カレー」が有名です。この野菜カレーは、レッドビーンズ、オニオン、トマト、ターメリックなどのスパイスを使い、とてもおいしいです。「ラージマ」とも呼ばれています。

氏名：アイピン グロバト 女性 20代



故郷：フィリピン マニラ市

行路：成田→マニラ（パサイ） 約5時間

私の仕事は英語の先生です。coco塾で教えています。私の住んでいるところは八王子です。私の趣味はアニメを見ることと本を読むことです。今、私は日本で楽しいです。いろいろ、おいしい食べ物が好きです。たとえば、チョコレートと肉が好きです。東京は空気がきれいで便利だと思います。だから、すべてを感謝します。

氏名：バン タソム 女性 20代



故郷：韓国 大田広域市

行路：成田空港→仁川空港（2時間）→大田広域市（バスで3時間）

大田は韓国の6つの広域市のの一つです。韓国の真ん中にある大田は韓国の交通の中心地です。食べ物はカルグッスと言う麺やアンパンを揚げた揚げアンパンが有名です。観光スポットは、宝文山、オー・ワールド動物園、プリ公園などがあります。

氏名：オパール バルボザ 女性 32歳



故郷：オーストラリア

行路：成田→パリ 約13時間

私はオーストラリアのシドニーで生まれました。趣味は読書と料理です。「すいとん」と「うどん」が好きです。息子が一人います。一歳十カ月です。名前は「フジ」です。日本で生まれました。夫はフランス人です。日本の前にフランスのパリにいました。

## 木曜教室七夕まつり

7月6日、木曜教室では授業時間の終わりに、毎年恒例の七夕まつりを楽しみました。立川市の姉妹市であるサンバーナディノ市の派遣高校生3人も参加しました。ボランティアも受講生も一緒になって、配られた短冊に思い思いの願い事を書いて、用意された笹竹に結びました。役員が七夕の解説をした後、全員起立して、齋藤会長の音頭で、「たなばたさま」を合唱しました。最後に皆で、色とりどりの短冊や飾りで綺麗に仕上がった笹竹と一緒に記念写真を撮り、なごやかな雰囲気の中で散会となりました。



## 浴衣体験

8月26日(土)、立川諏訪祭に合わせて浴衣体験会を行いました。当日、全員で9名のTIFA受講生が参加しました。初めの体験ですが、着物を着て、帯を締め、髪をアップして、髪飾りをすると見違えるほど華やかな着物姿になりました。

諏訪神社では、正式な作法でのお参りをしました。夜店では、金魚すくい、射的、お化け屋敷など、珍しい物もありました。又、お神輿行列では、威勢のいい掛け声、担ぎ手の熱気を間近で見ました。当日の浴衣体験は、日本の夏祭りの体験でもあり、好奇心と、興味で、みんなニコニコ顔でした。



## 木曜教室ランチパーティー

7月20日(木)に木曜教室恒例のランチパーティーが行われました。

テーブルには飲み物とともにドミニカのパン、台湾の桃饅頭、キムチのチヂミ、ピザ、サンドイッチ、芋の煮ころがし、のりまき、抹茶ゼリー、そのほか様々な国の手作りのお料理が並び、賑やかに食べたりおしゃべりをしたりと楽しい時間を過ごしました。

ことのほか暑い日が続く中を皆さん頑張って勉強しました。厳しい夏を乗り越えて、二学期に集いましょう。



## ☆TIFA 会員動向☆

### 【入会者】

木曜：なし

土曜：なし

西砂：後藤恵子

### 【退会者】

木曜：なし

土曜：片山真理子

西砂：奥貫淳宏、穴道登美子

## ☆☆今後の予定☆☆

- ・料理教室：9月(詳細は未定)
- ・土曜教室 ボランティア研修会：10月28日(土)
- ・世界ふれあい祭：11月4日(土)、5日(日)
- ・立川市多文化共生都市宣言記念シンポジウム  
：10月21日(土) 13:30~16:00  
会場：たましん RISURU ホール小 ホール  
入場無料